

## 会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第5回）		
開催日時	平成19年5月31日（木曜日）午後3時から午後3時50分		
開催場所	保谷庁舎2階第1会議室		
出席者	（委員）佐藤会長・加藤委員・忠平委員・長沢委員・真田委員・終夜委員・武藤委員・繁野委員・井浦委員・大森委員・柳父委員 （欠席）稲津副会長・坂上委員・本橋委員・田中委員・奥隅委員 （事務局）富田学務課長・杉山係長・猿谷主任		
議題	1 西東京市立中学校における学校給食について 2 その他		
会議資料の名称	1 西東京市立学校給食運営審議会資料		
記録方法	全文記録	発言者の発言内容ごとの要点記録	会議内容の要点記録
会議内容			
<p>発言者名： 発言内容</p> <p>議題1 西東京市立中学校における学校給食について 富田課長          前回の全体会で部会の報告をしていただいた。今後は今日を含んだあと3回で審議会全体の意見をまとめ、答申を作成・提出していただく予定である。          本日本配した資料「西東京市立学校給食運営審議会資料」について説明する。「1. 中学校給食に関する環境について」は、答申を作成するにあたり、どのような理由により中学校給食が必要であるかとの導入部分になる内容なので、今までの議論をふまえ事務局がまとめ、次回会議に素案を提示させていただきたい。「2. 中学校給食実施について」は、重要な部分になるので本日本議論していただきたい。「3. 中学校給食の実施についての結論」は、「1. 中学校給食に関する環境について」と「2. 中学校給食実施について」を集約したものになる。</p> <p>佐藤会長          「1. 中学校給食に関する環境について」は、提案があったように事務局で作成することによるしいか。</p> <p>全員了承</p> <p>佐藤会長          了承されたので、「1. 中学校給食に関する環境について」は、事務局が作成していただきたい。次に「2. 中学校給食実施について」を検討する。部会委員の意見は前回配布された部会報告のP5（1）中学校給食の実施についてにより、実施すべきとある。部会委員以外の意見を教えてほしい。</p> <p>真田委員          各市の状況から見ても実施しない理由が明確ではないので、要望が多ければ実施しな</p>			

ければならない時期にきているのだろう。

加藤委員

西東京市では中学校給食が実施されていないので驚いた。小学校では食育に力を注いでいるが、中学校では給食が無いので、食育指導が小学校で終わってしまうので実施した方がいい。

長沢委員

中学校給食は必要だと思うが、実施方法については検討する必要がある。

忠平委員

親が忙しくなり、栄養のことを考えた弁当を作る時間がなくなっている。栄養バランスは大切なので、中学校給食は実施してほしい。

佐藤会長

部会報告や今出された意見から、実施するとしてよろしいか。

全員了承

佐藤会長

中学校給食は実施する方針とする。

次に中学校給食実施方法について検討する。部会では「弁当併用スクールランチ方式（東久留米市）」「親子方式（調布市）」「センター方式（小平市）」の3市を視察した中で、調布市の親子方式が提案されている。親子方式にする場合、児童・生徒数の問題や施設面積の問題もあり、すぐに結論が出ないと感じた。

富田課長

泉小学校などでは児童数が300名を割っているが、上向台小学校や谷戸地域では人口が急増しているので、必ずしも中学校分も小学校で調理する型が取りきれない部分がある。搬入についても調布市では3トン車を使っていたが、同型の車では支障がある学校があるので詳細をチェックする必要がある。また、中学校分の給食を小学校で作り運搬するのは準工業地帯か工業地帯でなければ難しいという考えが東京都にあるので調査するが、今の段階で親子方式を実施できるかどうかの判断は難しい。

佐藤会長

個人的に親子方式が財政負担も少なく一番良いと思うが、法的な問題や搬入車の問題など難しい面があるのが分かった。せっかく答申をしても問題があるのでできないということもあり得るので、事務局で3つの方式を具体的に検討し、西東京市としてこの方式なら現実性がある案を示してもらおうようにした方がいいように思うがいかがか。

全員了承

佐藤会長

方式について事務局で試案することとする。

次に家庭弁当との選択制について検討する。東久留米市・調布市では選択制だが、小平市では全員給食である。部会意見では選択制でまとまっているがいかがか。

武藤委員

弁当を持たせたい家庭はあるので選択制にならざるをえないだろう。

真田委員

中学校の昼食時間が限られていることや、嗜好も確立されている年代になっているため残菜も多くなると思うので選択制がいい。

佐藤会長

選択制がいいとの意見なので、給食と家庭弁当との選択制とする。  
調布市や小平市では献立に合うよう温かい状態を出しているが、東久留米市ではおかずは冷たい状態なので、食事本来の形態についての意見を出していただきたい。

武藤委員

昼食時間が短いので、弁当併用スクールランチ方式であれば予め弁当箱に入っている  
ので配膳時間は短縮できるが、おかずは冷たい状態になる。温かいものは温かくが望ましいが、内容についてはどのような方式になるかで変わってくる。

佐藤会長

給食時間の確保について意見を出していただきたい。

繁野委員

3市とも学校給食法に基づき実施しているからこそ教育課程の一環として、給食時間を確保し、食べる時間が足りないということはなかった。西東京市では給食がないから短い状況になっている。

佐藤会長

給食費の未納があるとその分、質を落としたりすることになるが未納の対応についてはいかがか。

武藤委員

小学校給食費の現状を教えてほしい。

富田課長

最終的な結果分析はしていないが、客観的に支払能力があると思われる世帯でも払わないケースがある。その大きな理由のひとつとして、義務教育だから払わないというのがある。これ以外の理由としては払いたくないというものが多い。なお、就学援助制度があり、一定の所得基準内であれば給食費を助成している。

武藤委員

学校は教育指導に専念してほしいので、学校の負担にならない方法で対応してほしい。

まとめ

出された意見を基に事務局で素案を作成し、次回会議で素案内容を検討する。

議題2 その他

(1) 次回会議について

富田課長

冒頭でも述べたように、「1. 中学校給食に関する環境について」は、事務局で作成  
させていただく。「2. 中学校給食実施について」と「3. 中学校給食の実施についての

結論」についても本日出された意見に基づ事務局で素案を作成し、次回会議で配布するので検討してまとめていただきたい。予定では7月に答申提出をしていただきたいので、次回の会議でまとまらない部分については、最終的に会長一任でまとめたいと考えている。

次回は6月25日に開催する予定でいる。25日に調整がつかなかった場合は、6月下旬に開催する。